

課題 1 光男さんのグループでは、「言葉のつかい方」について考えたことを話し合い、発表することになりました。そのために、「自分の思い込みを相手に伝えてしまう表現」について書かれた文章を読み、文章で述べられた事例をまとめたスライドを作成してグループで話し合いをしています。

資料①から資料③を読んで、あとの(1)から(4)に答えましょう。

資料① 【光男さんの読んだ文章】

私の知り合いに\*1食通の人がいて、料理や食材についてもよくご存じなのですが、その人はレストランで料理の説明をされるとき「こちらは、○○というキノコです」とか「こちらは××といまして……」といった言葉にイライラするそうです。「こっちは○○も××も知ってるんだから、シンプルに『こちらは○○です』『こちらは××です』と言えればいいのに」と思うそうです。確かに、「AというB」とか「こちらはAといまして」といった表現は、「A」を知らない相手に説明するときによく使われるので、知っている人から「無知だと思われた」と受け取られるのも無理はありません。

話し手の思い込みを伝えてしまう表現は他にもたくさんあります。たとえば「AなのにBである」のような表現は、「Aは普通、Bではない」「Aは本来、Bではない」という思い込みを伝えてしまいます。以前、私がAー関連の講演をしたときに、参加者の方から「女性なのに、Aーの研究をやってるんですか？ すごいですねえ！」と言われたことがあります。この方はきっと、「女性は普通、Aーの研究をしない」と思っておられたのでしょう。褒めていただいたのは嬉しかったのですが、ちょっと複雑な気持ちになりました。

伝えたくないことが伝わってしまうのは、自分から言葉を発したときだけに限りません。相手の曖昧な言葉をとっさに解釈するときに、自分の思い込みが解釈に影響を及ぼし、結果的に相手に伝わってしまうケースもあります。

これもさっきの食通の知人から聞いた話ですが、とあるレストランで注文をするときに、メニューを指し示しながらウェ이터さんに「この“オードブル”っていうのは何ですか？」と尋ねたそうです。知人の意図は、「オードブルとして、具体的にどんな料理が出てくるのか知りたい」ということでした。しかし、ウェ이터さんは知人の質問に対して、「オードブルというのは、コースの最初に出てくる軽い料理のことです」と、オードブルの定義を答えてしまいました。知人はそんなことは当然知っていますから、気分を害したのは言うまでもありません。

\*1 食通：料理の味や料理の知識に関してくわしい人のこと。  
川添 愛著 『わかってもらおう』ということ』による

資料② 【スライドの一部】

言葉のつかい方 ～思い込みで話をしてしまうと…～

勝手な思い込みにより、相手の気分を害してしまった事例

1 レストランでのできごとについて

ウェ이터

「こちらは、○○というキノコです」  
「オードブルというのは…  
軽い料理のことです」

「どうやら、  
\_\_\_\_\_と  
思われている  
ようだ」

食通の人

2 A I の講演のあと、参加者からもらった感想について

「女性なのに、A I の研究をやってるんですか？ すごいですねえ！」  
(以下略)

資料③ 【話し合いの様子の一部】

光男 筆者の知り合いの「食通の人」がイライラする気持ちも、わかるような気がするよ。新しい熱帯魚を買いに行ったときに、いろいろな種類の熱帯魚の説明を店員さんに長々とされたときには、うんざりしたからね。

直美 光男さんは熱帯魚に詳しいものね。「勝手に決めつけられた」と思うと、残念な気持ちになるんだよね。あなたの思い込みだけで決めつけないでと思うことはよくある。

洋平 大人に必要以上に子どもあつかいされたときなども、そうかな。

光男 でも、そういう人たちってけっして悪気があるわけでもないのだろうね。筆者がA I 関連の講演をしたときの参加者の方の感想にしても、その人に見れば、ほめようとしていたのだから。

洋平 ただし、ほめ方がよくなかったので、**㊦**筆者は「ちょっと複雑な気持ち」になってしまったんだね。

直美 レストランでオードブルについて尋ねた話については、どう思う？

光男 こちらは、ちょっと難しいよね。ウェ이터さんの立場としては、この「食通の人」が「食通」なのかどうかはわからないのだから、尋ねられたことをそのまま答えるしかないような気がするなあ。

洋平 「食通の人」の尋ね方にも問題があるような気がするよ。

直美 でも、実際にこういうことはありそうだなね。**㊧**話をするとき、自分の思い込みで相手の気分を悪くさせないようにするためには、どうしたらいいのかな。

光男 そのことについてもみんな考えてみようか。

(1) ……線「説明」のように、「説」から始まる「説明」以外の二字熟語を二つ考え、漢字で書きましょう。

(2) あなたが、資料②の……部分を完成させるなら、空らんどのように書きますか。十字以上十五字以内で書きましょう。

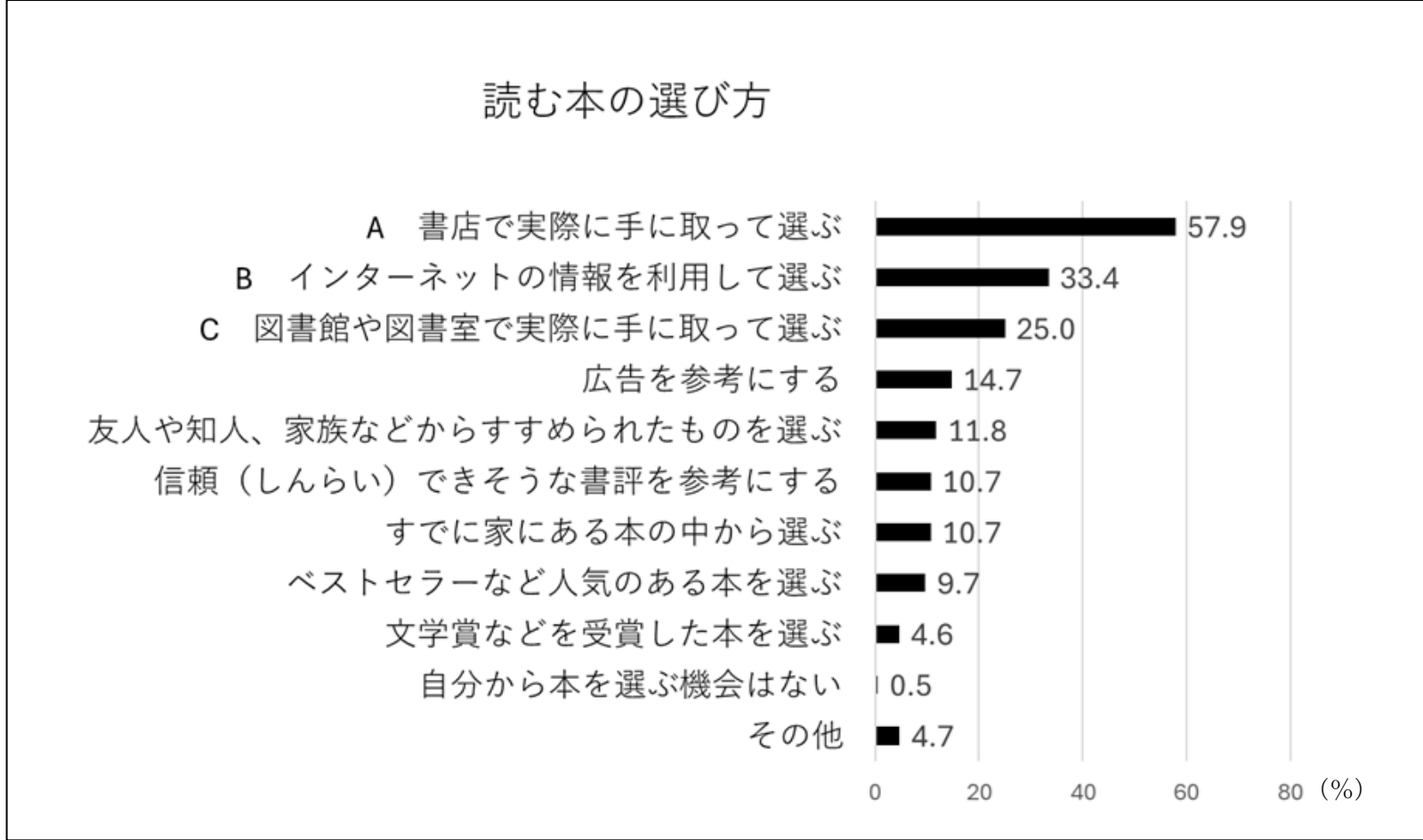
(3) 洋平さんが――線部㊦「筆者は『ちよつと複雑な気持ち』になってしまった」と発言していますが、「ちよつと複雑な気持ち」とはどのような気持ちですか。資料①を参考に、五十字以上六十字以内で説明しましょう。

(4) 直美さんが――線部㊧「話をするときに、自分の思い込みで相手の気分を悪くさせないようにするためには、どうしたらいいのかな」と発言していますが、あなたがレストランのウェイターだったとしたら、どうすればよかったと思いますか。どのようなことに気をつけるべきだったか、または、どのように行動すればよかったかについて、五十字以内で具体的に書きましょう。

課題2 次の資料は【読む本の選び方】を調査した結果の一部です。あなた自身はどのように本を選んでいきますか。また、今後、どのような本の選び方をしてみたいですか。あなたが本を選ぶときの方法に近い項目を、上位三つのうちから一つ選んで、にA～Cのアルファベットで書き、あとの条件にしたがってあなたの考えを書きましよう。

〈条件〉

- あなたが本を選ぶときの方法が述べられている項目について、そのように本を選ぶ理由を、あなたの経験をふまえて具体的に書きましよう。
- 今後、どのような本の選び方をしてみたいかについて、その理由とともにあなたの考えを書きましよう。（A～C以外の方法でもよい。）
- 書き出しの言葉に続けて、二百字以内で書くこと。（「や。や。や」「」なども一字に数える。）
- マス目から書くこと。また、とちゅうで行を変えないこと。



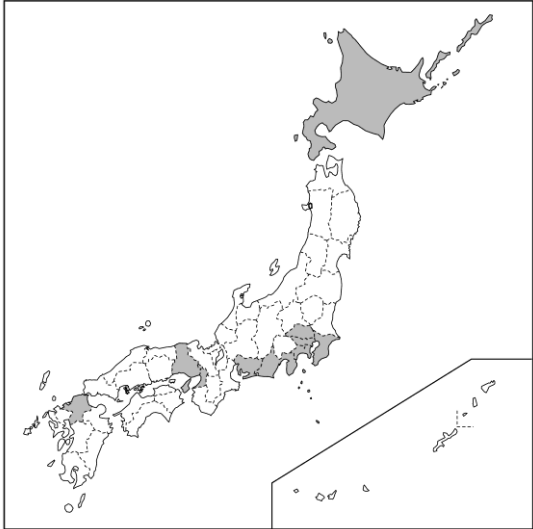
文化庁「令和5年度『国語に関する世論調査』」から作成

私は本を  の方法で選ぶことが多いです。  
なぜなら、……

課題3 きよしさんたちは、コンビニエンスストアに興味をもって調べ学習を行っています。あとの会話文を読んで、(1)～(3)に答えましょう。

きよし：ぼくたちの小学校の近くに、新しくコンビニエンスストアができたね。  
ひでみ：この町内には、A社のコンビニエンスストアがすでに3店舗あるよ。  
まなぶ：どんな場所を選んで出店しているのか、資料1を見るとわかりそうだよ。

資料1 コンビニエンスストアA社の店舗数  
上位10都道府県



(2025 年 9 月) (A 社ホームページをもとに作成)

(1) コンビニエンスストアの店舗数上位10都道府県の多くに共通する点について、資料1からわかることをもとに書きましょう。

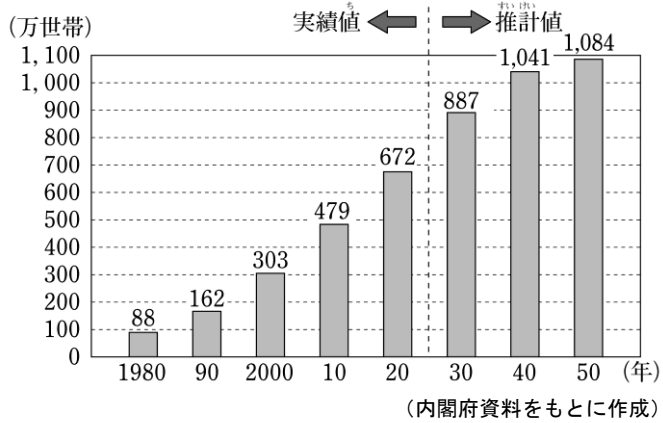
ひでみ：コンビニエンスストアって、いつ行っても明るいいし、どんな時間でもお弁当がたくさん並んでいるよね。すごく便利だけど、問題点はないのかな。  
まなぶ：そうなんだよね。コンビニエンスストアで起こっている問題について、あるコンビニエンスストアのオーナーが話をしている新聞記事(資料2)を見つけたよ。  
きよし：なるほど。この問題を解決するために、コンビニエンスストア各社は環境にやさしい取り組みを始めているんだね。

資料2 コンビニエンスストアのオーナーの話

近年、次の二つの問題が起こっていて困っています。  
一つ目は、お弁当やおにぎりなどの販売期限が切れてしまい、まだ食べられるのに廃棄する食品が多いことです。(①)  
二つ目は、24 時間営業のため、照明や冷蔵庫、電子レンジなどがずっと動いていて、夜間の電気の使用量が多いことです。(②)

(2) 資料2の中で取り上げられている二つの問題を解決するために、どのような対策が行われていると考えられますか。どちらか1つ選んでその対策の内容を書きましょう。

資料3 65歳以上の一人暮らしの世帯数の変化



資料4 買い物をする人たちに対する支援の例

| 取り組みの種類        | 実施しているところ      | 内容                               |
|----------------|----------------|----------------------------------|
| 移動販売車          | スーパー・市町村       | 軽トラックで週に数回、家の近くまで来て販売。           |
| 宅配支援サービス       | 社会福祉※協議会など     | 注文を電話や紙で受け取り、ボランティアが配達。          |
| コンビニエンスストアとの連携 | 市町村・コンビニエンスストア | コンビニ配送網を使って、地域の集会所などに商品をまとめて届ける。 |

※福祉…すべての人が安心して暮らせるように、生活のなやみや困ったことを助け合うこと。  
(経済産業省資料をもとに作成)

まなぶ：資料3を見ると、日本の将来に関して様々な課題が考えられるね。  
ひでみ：一人暮らしの高齢者の方は、地域によっては車がないと買い物に行けない人もいるって聞いたことがあるよ。バスや電車も本数が少ないから不便らしいね。  
きよし：資料4を見ると、そういう地域では移動販売車や宅配支援サービスを実施しているところもあるんだね。でも、これから人手が減っていくと、それだけではむずかしくなるかもしれないね。  
ひでみ：つい最近、一人暮らしの高齢者の孤独死※1が問題になっていたわ。買い物難民※2と合わせて、一人暮らしの高齢者が安心して生活できるような仕組みは考えられないかしら。  
※1 孤独死…一人で暮らしている人が、だれにも気づかれずに亡くなること。  
※2 買い物難民…お店が遠かったり、足が悪かったりして、食べ物などを買いに行くのがむずかしい人。

(3) 資料3から読み取れる課題を明らかにした上で、資料4をもとに一人暮らしの高齢者の方たちが、これからも安心して生活できるようにするにはどうすればよいか、あなたの考えを書きましょう。